

○第3期メンタルヘルス法務主任者資格認定試験

[基礎問題]

以下の問いに答えて下さい。

解答は別紙解答用紙に記載して下さい。※問題用紙は回収しません。

2015.6.28

【精神医学】

問1 心因性精神疾患に関する記述として正しいものを選んで下さい（配点5）。

- ① 個体側のパーソナリティや発達に何らかの偏りが認められた場合には、環境側の要因を考慮する必要はない。
- ② 情報源が増えると混乱をきたす原因になるので、診断はあくまで本人の訴えに基づいて行う必要がある。
- ③ 環境側の問題が明らかな場合は、外因性精神疾患や内因性精神疾患の可能性を探索する必要はない。
- ④ 個体側の要因と環境側の要因の双方が存在する場合、環境を変えることを考慮する必要がある。

【産業保健】

問2 下記の文章のうち正しい組み合わせを選んで下さい（配点5）。

- ① 復職時には疾病性の回復が必要条件であり事例性の回復が十分条件である。
- ② 産業医による復職判断では、事例性よりも疾病性の回復が優先される傾向にある。
- ③ 主治医による復職可能の判断は、少なくとも疾病性の回復を保証していることが多い。
- ④ 発生傷病に業務起因性がある場合、事例性の回復は本人が担保すべきでない。

- 1) ①と② 2) ①と③ 3) ③のみ 4) ④のみ

問3 次の用語について、それぞれ100字程度で説明して下さい
(2題正答で5)。

事例性：

疾病性：